

組織培養によるオニグルミの増殖技術

1 はじめに

オニグルミは自然食品として根強い人気があり、「多収性系統」や「殻が乾燥により自然に割れる系統」などが栽培されている。しかし、実生による増殖は形質が不安定であり、接ぎ木による苗木養成も難しいため、栽培が一般に普及していない。

この研究は、組織培養による効率の良い育苗方法を解明しようとするものである。

2 方法と結果

5年生苗の「芽（腋芽）」を用い、植物成長調節物質の条件ごとに茎葉と根の形成状況を比較した。その結果、これまで明らかにされていなかった腋芽からの茎葉及び根の形成条件を確立することができ（図1, 2参照）、組織培養による増殖の可能性が得られた。

3 今後の進め方

今後は、培養により得られた苗を苗畑の環境に馴化させる方法を確立するとともに、優良系統を用いた苗の養成を試みる予定である。



↓ 材料の実生苗



↓ 茎葉の形成状況



↓ 茎葉からの発根状況



↓ 馴化中の苗

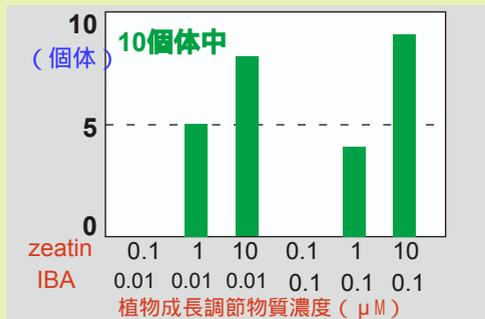


図-1 茎葉を形成した個体数



IBAを含む培地で培養後、植物成長調節物質を含まない培地に移植した

図-2 発根した個体数

(担当者 特用林産部 技師 佐々木 仁)

連絡先	028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割字清水560-11	TEL 019-697-1536
	岩手県林業技術センター	FAX 019-697-1410
	ホームページアドレス http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/	